



仕様

地域：アルゼンチン / メンドーサ

スタイル：赤ワイン

葡萄品種：ピノ・ノワール

テイスト：辛口

アルコール度数：14.1%

サーブ温度：16°C

容量：750ml

説明

テイスティングノート イチゴとバラの魅惑的な芳香に、オレンジピールが加わり、フレッシュで、スパイクとハーブの効いた、房ごと発酵した葡萄が示すしっかりとしたタンニンを表し、バランスのとれたトーストを含むオークが補完する。素晴らしい風味の林床が支え、火打ち石と碎いた石のミネラルが、たくさんの層を持つ、美しいワインを完成させている。

葡萄品種 ピノ・ノワール

畑 / 釀造方法

テロワール フィンカ・ラス・ピエドラは、ウコ・ヴァレー、トゥヌヤン県、ロス・アルポレス地区の標高1,300mに位置する。アンデス山脈の麓、ラス・トゥナス川の第2支流でトゥヌヤン川に水を運ぶオルモ川が形成する小さな扇状地。畑はメンドーサで一般的なものより若干降雨量が多く、雲に覆われた独特の微気候のため、灌漑は行っていない。

気候 晴れで乾燥している

地質 砂質ローム土壌で、3%粘土、90%砂、7%シルトからなるマイクロテロワール。第一層は深さ60cmまで岩石がない。第二層は直径50cmほどの大きな丸い石が30%含まれており、90%以上が炭酸カルシウムの層。区画は大きな石で完全に覆われていたが、植樹の際取り除かれ、土壌は保水力が非常に低い。

醸造 15%の房ごと、85%除梗

- 6000Lのフレンチオーク樽で土着酵母と発酵

- 発酵中は1日3回パンチングダウンを行う

- 果皮とマセラシオン

- ブルゴーニュ産の新樽と2年目以降樽に濾しきし、自然なマロラクティック発酵と12ヶ月の熟成を行う

- 瓶詰め前に軽くろ過する

酸度 5.60g/L

PH 3.64g/L

残糖度 2.70g/L

受賞歴

ジャパン・ワイン・チャレンジ2023 プラチナメダル&JWCアワード ベストアルゼンチンワイン！

後続2020ヴィンテージ

ジェームス・サックリング 95ポイント！